

# 衆議院予算委員会ニュース

【第210回国会】令和4年11月29日（火）、第8回の委員会が開かれました。

- 1 令和4年度一般会計補正予算（第2号）  
令和4年度特別会計補正予算（特第2号）
  - ・外交等内外の諸課題について、岸田内閣総理大臣、斉藤国土交通大臣、浜田防衛大臣、松野国務大臣及び秋葉国務大臣に集中審議を行いました。
  - ・岸田内閣総理大臣、松本総務大臣、齋藤法務大臣、西村経済産業大臣、河野国務大臣及び秋葉国務大臣に締めくくり質疑を行い、質疑を終局しました。
  - ・渡辺創君外1名（立憲、維新）、齋藤アレックス君（国民）、櫛淵万里君（れ新）から、それぞれ、撤回のうえ編成替えを求めるの動議が提出され、提出者渡辺創君（立憲）、齋藤アレックス君（国民）、櫛淵万里君（れ新）からそれぞれ趣旨弁明を聴取しました。
  - ・令和4年度補正予算2案及び撤回のうえ編成替えを求めるの動議3件に対し、鰐淵洋子君（公明 自民及び公明を代表）、渡辺創君（立憲）、掘井健智君（維新）、齋藤アレックス君（国民）、宮本徹君（共産）、緒方林太郎君（有志）及び櫛淵万里君（れ新）が討論を行いました。
  - ・櫛淵万里君（れ新）提出の撤回のうえ編成替えを求めるの動議について採決を行った結果、賛成少数をもって否決されました。  
(賛成－れ新 反対－自民、立憲、維新、公明、国民、共産、有志)
  - ・齋藤アレックス君（国民）提出の撤回のうえ編成替えを求めるの動議について採決を行った結果、賛成少数をもって否決されました。  
(賛成－国民 反対－自民、立憲、維新、公明、共産、有志、れ新)
  - ・渡辺創君外1名（立憲、維新）提出の撤回のうえ編成替えを求めるの動議について採決を行った結果、賛成少数をもって否決されました。  
(賛成－立憲、維新 反対－自民、公明、国民、共産、有志、れ新)
  - ・令和4年度補正予算2案について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
(賛成－自民、公明、国民 反対－立憲、維新、共産、有志、れ新)  
(質疑者) (集中審議) 國場幸之助君（自民）、吉田宣弘君（公明）、末松義規君（立憲）、渡辺創君（立憲）、山井和則君（立憲）、青柳仁士君（維新）、齋藤アレックス君（国民）、宮本徹君（共産）、仁木博文君（有志）、櫛淵万里君（れ新）  
(締めくくり質疑) 森山浩行君（立憲）、後藤祐一君（立憲）、池畑浩太郎君（維新）、齋藤アレックス君（国民）、宮本徹君（共産）、櫛淵万里君（れ新）

(質疑者及び主な質疑事項)

(集中審議)

## 國場幸之助君（自民）

### 安全保障政策

- ア 自衛官の処遇改善、自衛隊の機能強化及び南西地域の防衛体制強化についての岸田内閣総理大臣の見解
- イ 反撃能力の保有を検討するに至った経緯
- ウ Jアラートに基づく避難の実態
- エ 沖縄県における有事の際にシェルター機能を持つ公共交通機関の整備についての松野国務大臣の見解
- オ 武力攻撃事態等における事態の認定及びその際の国民保護との連携における課題
- カ 防衛産業に関わる中小企業に対して支援を行う必要性

**吉田宣弘君（公明）**

- (1) 第25回ASEAN首脳会議
  - ア カンボジアにおける我が国のこれまでの地雷除去支援の状況及び今後同支援充実の必要性
  - イ 韓国の尹錫悦大統領との会談内容及びその成果
  - ウ 中国の習近平国家主席との会談内容及び今後の取組
- (2) G7広島サミットに向けた我が国における国際保健の取組

**末松義規君（立憲）**

安全保障政策

- ア 台湾有事における我が国の軍事シナリオの想定
- イ 反撃能力の保有についての公明党の議論
- ウ 我が国が台湾の独立を支持しないとの立場を明確にする必要性及び米中の緊張緩和に向けた外交努力を行う必要性
- エ サイバー攻撃
  - a 我が国の重要インフラ等への深刻なサイバー攻撃は武力攻撃に当たり得るとの政府の立場の確認
  - b 上記aの立場を国際社会に対して明らかにすることでサイバー攻撃に対する抑止力を高める必要性についての岸田内閣総理大臣の見解
  - c サイバー攻撃に対処するための国際協力ネットワークを構築する必要性

**渡辺創君（立憲）**

- (1) 秋葉国務大臣の福島視察延期
  - ア 秋葉国務大臣の説明責任や福島視察延期に関する村井宮城県知事の発言についての秋葉国務大臣の受け止め
  - イ 視察延期の判断の適切性についての秋葉国務大臣の所見
- (2) 秋葉国務大臣の選挙運動
  - ア 現在の公設第一及び第二秘書に対する選挙運動報酬支払い
    - a 同秘書が昨年の衆院選の際に車上運動員であったことの確認
    - b 同秘書が車上運動員ではなかったと別の車上運動員が証言したとする報道に対する秋葉国務大臣の弁明
    - c 同秘書が本当に車上運動員として活動していたかの再確認
    - d 宮城県選挙管理委員会に車上運動員の活動予定等を事前に登録した公文書の開示請求をするよう同秘書に求めることについての秋葉国務大臣の所見
  - イ 秋葉国務大臣の氏名が入ったたすきの本人以外の使用
    - a 県議会議員時代から行われていたかの確認
    - b 締めくくり質疑の前に、秋葉国務大臣の氏名が入ったたすきの本人以外の使用の有無を関係者に確認する必要性
    - c 昨年の衆院選の際に秋葉国務大臣の次男がかけていたたすきの作成者
- (3) 秋葉国務大臣の政治資金
  - ア 秋葉けんや後援会が過去3年間、監査費を支出していない理由
  - イ 自由民主党宮城県第二選挙区支部と同後援会の監査人が同一人物であったことから同後援会の監査費を同選挙区支部からまとめて支払ったという対応の適切性
  - ウ 同選挙区支部が2017年、政治経済研究所に600万円を寄付したことの適切性

- (4) 秋葉国務大臣の説明責任の不履行についての岸田内閣総理大臣の見解
- (5) 子ども関連予算
  - ア 予算額の倍増の実現時期
  - イ 義務教育期間の学校給食費の無償化についての岸田内閣総理大臣の見解

#### 山井和則君（立憲）

##### 旧統一教会関係

- ア 被害者救済法政府案
  - a 一般論として、不安をあおられるなど適切な判断ができずに献金した場合、今回の被害者救済法政府案の対象となるか否かの確認
  - b 一般論として、献金する段階では自らは困惑していないと認識し自主的に献金した旨の念書に署名していた場合、政府案の対象となるか否かの確認
  - c 正体を隠して教え込まれた教義による責任感や義務感に基づいて支払われた献金が政府案の救済対象となるか否かの確認
- イ 岸田内閣総理大臣が面会した3名の被害者のうち二世であり現在も信者の扶養家族である者の有無
- ウ 扶養家族でない人の返金請求の方法
- エ 元扶養家族が扶養されていた時期に遡った返金請求の可否
- オ 岸田内閣総理大臣が被害者弁護団の弁護士と面談する必要性

#### 青柳仁士君（維新）

- (1) 安全保障及び防衛力
  - ア 防衛三文書の改定に当たって国民が最も期待していることについての岸田内閣総理大臣の認識
  - イ 他国からのミサイル攻撃に対する反撃能力についての岸田内閣総理大臣の見解
  - ウ 抑止力の観点からの反撃力保有の必要性についての岸田内閣総理大臣の見解
  - エ 武力行使の新三要件に記述されている必要最小限度という言葉の必要性
  - オ 保有可能な武器や使用方法について内向きに規制を設けるべきではないとの意見に対する岸田内閣総理大臣の見解
  - カ 我が国が保有可能な攻撃兵器の判断基準
  - キ 必要な防衛力の整備は国家の安寧と国民の平和な暮らしを預かる政治の果たすべき役割との意見に対する岸田内閣総理大臣の見解
- (2) 総合経済対策及び補正予算
  - ア 国民が最も要望していることについての岸田内閣総理大臣の認識
  - イ 即効性がないとの意見に対する岸田内閣総理大臣の見解
  - ウ 安定財源として防衛費の基金を作らない理由

#### 斎藤アレックス君（国民）

##### ミサイル防衛

- ア 導入・維持経費、乗組員の負担等の問題を有するイージスシステム搭載艦整備の妥当性
- イ 国際情勢の変化及びミサイル技術の進化等を踏まえ、ミサイル防衛の在り方を再検証する必要性

### 宮本徹君（共産）

- (1) 防衛力の抜本的な強化に伴う軍事費の増額
  - ア 「国力としての防衛力を総合的に考える有識者会議」報告書（令和4年11月22日）に示された防衛力の抜本的な強化に関し、「国債発行が前提となることがあってはならない。」という文言についての岸田内閣総理大臣の認識
  - イ 物価高、実質賃金低下の中、軍拡目的に増税を行う可能性
  - ウ 直近の選挙公約に掲げていない軍拡目的の増税を行うことの不適切性
- (2) 敵基地攻撃能力の保有が安全保障のジレンマに陥るリスクについての岸田内閣総理大臣の認識
- (3) 軍拡競争による財政負担により国民の生活が脅かされる可能性

### 仁木博文君（有志）

- (1) GX（グリーントランスフォーメーション）の観点による山の役割・機能
- (2) 森林環境譲与税
  - ア 譲与基準のうち人口割部分を減少させる見直しを行う必要性
  - イ 二酸化炭素を吸収する海藻（ブルーカーボン）を枠組みに組み入れる必要性

### 櫛淵万里君（れ新）

- (1) 11月23日にカンボジアで開催された拡大ASEAN国防相会議に防衛政務官を派遣した理由
- (2) 北東アジア非核兵器地帯構想（3+3）に取り組む必要性

（締めくくり質疑）

### 森山浩行君（立憲）

- (1) 旧統一教会関係
  - ア 1992年3月に文鮮明教祖が自民党の議員連盟の会合に出席するために政府が入国を許可した経緯を踏まえ、政府の政策への同教会による影響について調査する必要性
  - イ 検討中の被害者救済新法（政府案）の第一条、「この法律は、法人等による不当な寄附の勧誘を禁止するとともに」の「法人等」に任意団体が含まれるか否かの確認
- (2) 秋葉国務大臣
  - ア 国会対応のため震災三県の被災地視察を取りやめたことについての見解
  - イ 現在の公設第二秘書の秋葉事務所への入所は2021年であったとの答弁の一方、その前年6月に同秘書が秋葉氏の活動報告をインターネットに記載していた事実との整合性
  - ウ イを踏まえこれまでの同秘書の入所日時が虚偽答弁である可能性
  - エ 2021年10月26日に仙台市桂市民センターで行われた旧統一教会が関係する大会への出席の有無

### 後藤祐一君（立憲）

- (1) 秋葉国務大臣と旧統一教会との関係
  - ア 2021年10月26日に仙台市桂市民センターで行われた旧統一教会が関係する大会への出席の有無
  - イ 2021年の総選挙期間中に旧統一教会が関係する集会への出席の有無
  - ウ 2021年の総選挙期間中の活動記録の有無
  - エ ウを保存している可能性がある関係者

- オ 2021年9月16日に仙台市若林区内で行われた旧統一教会が関係する集会に出席して挨拶をした事実の有無
- カ 旧統一教会が関係する会合には出席していないとする事実の確認
- (2) 秋葉国務大臣の2021年の総選挙における選挙運動
  - ア 現在の公設第一及び公設第二秘書（以下、それぞれ「第一秘書」、「第二秘書」という。）が同選挙中に車上運動員として報酬を得ていた日付が記載されている届出書を宮城県選挙管理委員会において閲覧した事実の確認
  - イ 上記アの届出書の閲覧の可否についての松本総務大臣の見解
  - ウ 上記アの届出書の写しを本日中（11月29日）に提出することの可否
  - エ 届出書を閲覧する仕組みについて秋葉国務大臣が既知であったかの確認
  - オ 昨年の総選挙期間中における第一秘書及び第二秘書の具体的な活動内容
  - カ 上記オの活動に際し、第一秘書が仙台市泉区、第二秘書が同市若林区担当であった事実の確認
  - キ 第一秘書の泉区における具体的な活動内容
  - ク 第一秘書が車上運動員として活動中は泉区の集会等には参加していないとする事実の確認
- (3) 秋葉国務大臣の次男が大臣の名前が書かれたたすきに「次男」と書き加えて選挙活動を行っていた事実の確認
- (4) 秋葉国務大臣を更迭する必要性についての岸田内閣総理大臣の見解

#### 池畑浩太郎君（維新）

- (1) 防衛費増額の財源として増税の前に議員定数削減、調査研究広報滞在費（旧文書通信交通滞在費）の削減及び行財政改革を徹底的に行う必要性
- (2) 物価高騰対策としての減税についての岸田内閣総理大臣の見解及び行財政改革や規制緩和推進の具体的なスケジュール感
- (3) カーボンニュートラルの早期実現に向けた政府の具体的な取組や想定している成果
- (4) 調査研究広報滞在費の用途を定める自民党内規の有無

#### 齋藤アレックス君（国民）

- (1) 基金の創設及び積み増しについて補正予算の緊要性要件の疑義に対する岸田内閣総理大臣の見解及び国会における基金検証体制の必要性
- (2) 電気料金抑制策は無駄な経費の発生や事業者の利益補填に使用されないよう注意しながら政策を実行する必要性

#### 宮本徹君（共産）

- (1) 旧統一教会被害者救済法案（政府案）関係
  - ア 被害拡大防止及び迅速な救済のために、寄附の勧誘に当たっては強制力のない配慮義務ではなく禁止行為とする必要性
  - イ 政府案に全国霊感商法対策弁護士連絡会の提案を盛り込む必要性

#### 楢淵万里君（れ新）

旧統一教会問題の調査のために国会に特別委員会を設置する必要性についての岸田内閣総理大臣の見解